



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。浅野川中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

評価テスト①が終わりました・・・

～「テスト」で見つけた自分の弱点を「テスト直し」で克服していきましょう！～

評価テスト①が終わりました。生徒のみなさん、お疲れ様でした。この後の授業で、答案が返ってきます。日頃の勉強の成果が結果として現れた人も、頑張ったけれど残念ながら結果に結びつかなかった人も、テストを終えて、必ず「テスト直し」を実行してほしいと思います。



生徒のみなさんの中に「テスト直し」とは、解答用紙に赤ペンで模範解答を写す事だと思っている人はいませんか。また、ワークや問題集の答え合わせも同様にしている人はいませんか。残念ですが、この作業は学力をつけるという意味では、ほとんど効果がありません。テストで間違えたところは、理解が不十分なところです。いわば自分の弱点です。弱点を見つけるためにテストがあるとと言っても過言ではありません。この弱点をそのままにしておくと、次に同じ問題に出会ったときに同じように間違えるだけでなく、今後の学びにも大きく影響します。特に、数学や英語は「積み上げ教科」といわれ、前の学びの上に次の学びを積み上げていく教科です。積み残しは、今後学習する上で大問題です。

「テスト直し」とは、自分がなぜ間違えたか、どこかの理解が不十分かを自覚し、もう一度問題を解き直したとき、正解できる力を付けることです。「テスト直し」を一人で十分に取り組むことは、時間がかかり根気が必要で、非常に難しいことです。



そこで、生徒のみなさんにお勧めしたいのは「人に聞く」「質問する」ということです。学校の先生はもちろん、お友達やお家の人に分からないところを質問して、教えてもらいましょう。ちなみに質問するときは、①「この問題のここが分からない」など、できるだけ具体的に聞くと良いと思います。また、②「分からないところが分からない」ときは、必ず教科の先生に相談してください。

生徒のみなさん、どんどん質問して「分からない」を「分かった」に変えていってください。休み時間や放課後、多くの生徒が「質問があります」と先生方を捕まえる姿が見たいです。何の気兼ねもなく、分からないことを分からないと言えるそんな浅野川中学校でありたいと思います。



【頑張ったけれど残念ながら結果に結びつかなかった人へ】

勉強を頑張り始めて成果が出るまで、平均3か月かかると言われています。遅い人でも、半年(6か月)あれば、必ず成果として現れます。

『継続は力なり』

あきらめずに、努力を続けてください。必ずその努力が報われる日がきます。

デジタル科の授業が始まりました！

28日(水)5限目に、今年度、新設された「デジタル科」の授業を行いました。

デジタル科は、各学年15時間を予定しています。今日は「データ活用探究学習」の1時間目で、「身の回りの問題を、データを使って解決していくにはどうしたらいいのか」を例に沿って体験しました。今後は、様々なデータ解析の手法を学び、実際に各自が課題を設定して、問題解決に迫ります。

デジタル科

デジタル科の新設

- プログラミング学習の充実
- データ活用探究学習
- デジタル・シティズンシップ教育の充実
- 先端技術体験

※文部科学省の授業時数特別校制度や教育課程特別校制度を活用して、生活科や総合的な学習の時間の中で実施

●プログラミング学習の充実

●データ活用探究学習

●D・C教育の充実

●先端技術体験